



2025 年 6 月 9 日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 加藤公一レオ
(コード番号: 9235 東証グロース)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 植木原宗平
(TEL 092-834-5520)

【上場企業 国内最速 売れるネット広告社グループ】

TikTok Shop “運営代行第1号” が始動！

～ 売れるネット広告社グループが「動画×EC」市場の主役へ ～



売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：加藤公一レオ、証券コード：9235、以下 売れるネット広告社グループ）は、連結子会社である株式会社売れる越境 EC 社が提供する『TikTok Shop 運営代行サービス』の支援先企業において、『TikTok Shop セラーセンター』へのショップ登録（出店申請）が正式に完了したことをお知らせいたします。

この登録完了により、当該企業は商品登録・販売開始に向けた最終準備フェーズへと進んだ状態となり、当社グループの TikTok Shop 支援事業が“実行段階”へと本格的に移行したことを意味します。

これは、“上場企業において国内最速・第1号”として『TikTok Shop』ショップ登録の完了事例となり、売れるネット広告グループの支援体制が明確な“初動実績”として可視化されたマイルストーンです。

(※当社調べ/2025 年 6 月 9 日時点、国内上場企業において)

【世界的トレンドと日本市場の爆発的ポテンシャル】

「国内 TikTok Shop」は、ショート動画視聴から商品購入までをアプリ内でシームレスに完結できる革新的な EC モデルであり、米国・中国・東南アジアを中心に世界各国で爆発的な普及が進行中です。特に日本では、月間アクティブユーザー3,000 万人超という巨大プラットフォームでありながら、まだ本格展開が始まってお

らず、2025 年が“国内 TikTok Shop 元年”と位置づけられるほどの注目市場となっています。

このような背景の中で、当社グループの中核子会社である「売れる越境 EC 社」は、これまで中国における TikTok 運用の豊富な実績とノウハウを蓄積しており、国内向けにもその知見を活かした運営支援サービスをいち早く展開してまいりました。

そして今回、その成果が“日本初”（※当社調べ）の TikTok Shop ショップ登録完了という実績として可視化され、市場への圧倒的な先行ポジションを獲得したのです。



(TikTok Shop のイメージ)

【複数商談進行中、IR 連発のフェーズへ突入】

今回の Shop 登録を皮切りに、すでに複数のクライアントと TikTok Shop 運営に関する商談・契約が進行中です。今後は、クライアントに開設・稼働が完了し次第、『情報公開に同意いただいたクライアント』につきましては、順次 IR として開示していく準備が整っております。

つまり本件は、単発の成果ではなく、“今後連続的に IR を出していく爆発の起点”であり、投資家の皆様にとってはまさに“テーマ株初動”の瞬間と捉えていただける内容です。

【D2C・越境 EC の“本命”】

当社グループは、TikTok Shop を活用した D2C 展開や越境 EC 展開を志向する企業に対し、企画・構築・運用・改善までをワンストップで支援できる体制を構築しています。

さらに、AI による広告最適化や成果報酬型モデルとの連携など、多層的に収益を最大化できる強固な事業モデルを有しており、単なる代行業にとどまらない“EC インフラ企業”としての立ち位置を確立しつつあります。

【『売れる越境 EC 社』代表取締役社長 CEO 高橋宗太のコメント】



このたび、日本国内でも「TikTok Shop」がいよいよ本格始動する流れの中で、当社が支援する企業様の Shop が、“第1号”として正式登録が完了したことを大変光栄に思います。

今後、日本市場でも「TikTok Shop」は間違いなく急速に拡大していくと確信しており、この時代の波に乗り遅れないどころか、先頭を走る存在であり続けるべく、圧倒的スピードで展開を加速してまいります。

当社の「TikTok Shop 運営代行サービス」は、Shop の構築だけでなく、日々の運用、改善、コンテンツ戦略、データ分析までをワンストップで担うフルサポート体制です。すでに多数の企業様からお問い合わせ・ご相談をいただいております、今後は順次その成果を開示してまいります。少しでもご興味のある企業様は、“日本の TikTok Shop 市場を共に切り拓くパートナー”として、ぜひ一緒にチャレンジしていただければ幸いです。

国内 TikTok Shop 市場が立ち上がる中で、先行して実績を出せた当社の優位性は計り知れません。

当社は、TikTok Shop 事業を成長の柱と位置づけ、“時価総額 200 億円から 1000 億円、そしてその先へ”という明確な中期ビジョンを描いております。

今後も IR 戦略を加速させてまいりますので、“成長のテーマ株”としての本質価値にぜひご注目ください。

以 上